

市町村名	渡嘉敷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	渡嘉敷村美化清掃事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光地としてのイメージアップを図るため、渡嘉敷島の海浜、道路、公園など観光客等が利用する公共施設の美化、清掃等を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,100				
		(b) 予算現額	5,454				
		(c) 増減額 (b-a)	354				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	5,454	0			
	B. 執行済額		5,454				
	うち交付金充当額		4,363				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		増額354千円発生しているが、作業員数の増による賃金支給額の増と、それに伴う社会保険料の増額であり、当初計画していた活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光地及びその周辺の美化	目標	(8箇所)	()	()	()	
		実績	8箇所				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	作業員6名を雇用し、村内の公衆トイレ、自然公園広場や遊歩道周辺の草刈作業、花木の植栽等を実施し景観美化を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	観光地及びその周辺の美化 8箇所	目標	()	(8箇所)	()	()	()
		実績		8箇所			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	渡嘉敷港旅客待合所の清掃及び周辺の花木の植栽管理、道路沿いの花木の植栽管理、渡嘉志久海岸公園の草刈等管理及びトイレシャワー棟の清掃、照山自然公園内トイレの清掃及び遊歩道の草刈等管理、阿波連漁港トイレ・東屋の清掃及び草刈等管理、阿波連園地トイレの清掃及び草刈等管理、及び林道に設置された東屋等の清掃等観光客の利用が多い公共施設の美化、清掃等を実施し観光地としてのイメージアップに寄与した。					

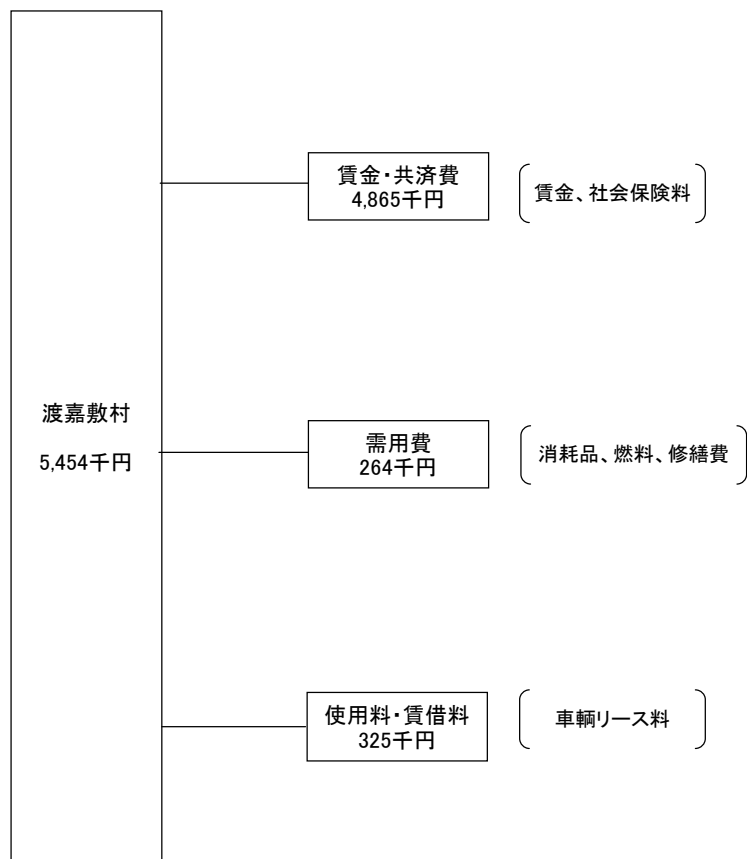
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	渡嘉敷港旅客待合所のトイレ清掃など、利用者の混雑時間帯を避けるため、業務開始時間を30分早めて実施している。	島内各所にあるトイレについては、朝のうちに清掃しても日中の利用で汚れてしまい、利用者に不快感を与えてしまうことがあるため、午後にも点検を行い必要に応じて清掃するなどの対応をする必要がある。

今後の取り組み方針

夏場の屋外での草刈作業等は、体力的にも厳しく作業の能率も悪いため、屋外での作業を早朝に実施するなどの工夫も必要と考える。また、花作りをとおして住民にも美化意識を広めるよう取り組みを工夫し、島をとずれる観光が気持ちよく利用でき、また来々となるような環境作りに努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,454	5,454	4,363	1,091	



資金使途の流れ、点検、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○作業員は村内において公募により採用しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	花と緑の美ら島景観整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光客が魅力を感じ、また来たいと思うような村づくりを推進し、年間通して四季折々の花の咲く美しい景観の島にするため、幹線道路及び散策道等に「ケラマツツジ」や「ハイビスカス」、「サクラ」の植栽及び緑地帯の周辺整備を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,835				
		(b) 予算現額	3,835				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	3,835	0			
	B. 執行済額		3,806				
	うち交付金充当額		3,045				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		99.2%				
予算の状況の説明		・不用額が29千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容は全て実施しており、適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光地へのアクセス道路等の植栽及び緑地帯の整備 40箇所	目標	(40箇所)	()	()	()	
		実績	40箇所				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	年間通して四季折々の花の咲く美しい景観の島にするため、幹線道路である村道及び林道等に「ケラマツツジ」や「ハイビスカス」、「カンヒザクラ」の植栽と、既存のサクラ並木周辺の環境整備を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	観光地へのアクセス道路等の植栽及び緑地帯の整備 40箇所	目標	()	(40箇所)	()	()	()
		実績		40箇所			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	年間通して四季折々の花の咲く美しい景観の島にするため、幹線道路である村道及び林道等に「ケラマツツジ」や「ハイビスカス」、「カンヒザクラ」の植栽と、既存サクラ周辺の環境整備を実施した。					

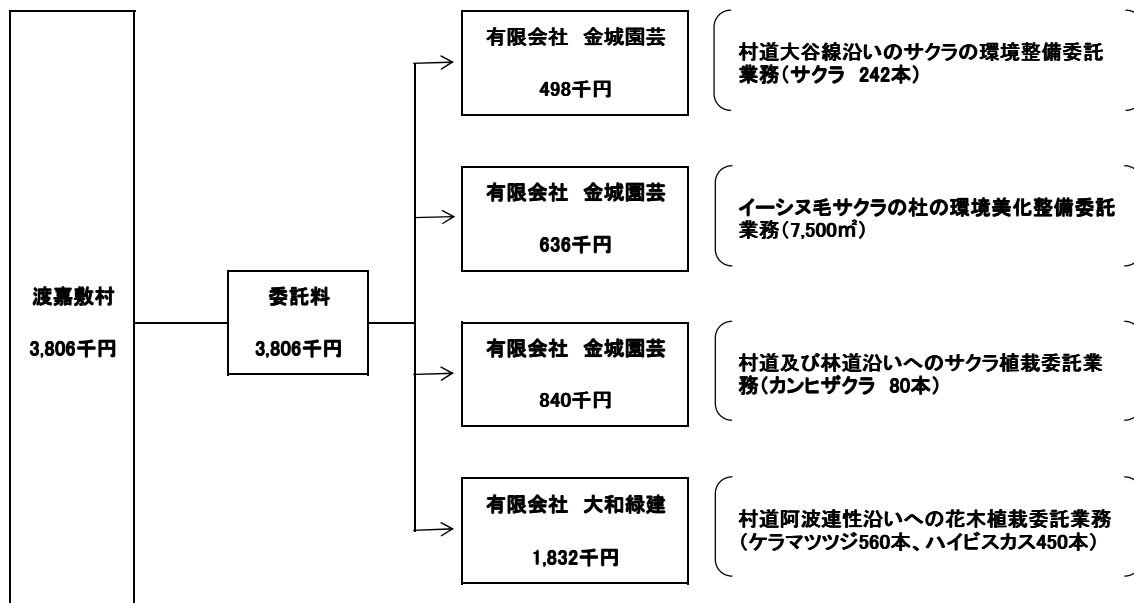
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○植栽や環境整備を行う上で、雑草や雑木の処理の問題、台風等による強風や大雨の被害対策の方法	○定期的な調査点検を実施し、予防的対策を講じていく。

今後の取り組み方針

○植栽した花木の育成に必要な周辺環境の整備を継続的に実施し、花と緑の美ら島景観の実現に向けて今後も事業を展開していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,806	3,806	3,045	761	



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者については、渡嘉敷村財務規則の規定に基づき、随意契約並びに指名競争入札により業者を決定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費目、用途については、事業目的達成の観点から仕様書のとおり実施されているか等、完了検査及び支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	渡嘉敷村ホスピタリティー向上及び多言語観光情報発信事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ			
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	外国人観光客へ情報提供の充実や、ホスピタリティー向上を目指し、多言語(日本語、英語、中国語、韓国語)にて、村内の観光スポットやお勧めの散策コースといった周辺情報が入手できるサービスを構築する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a)当初予算額	3,675					
	(b)予算現額	3,675					
	(c)増減額(b-a)	0					
	(d)前年度繰越額	-					
	A.計(b+d)	3,675	0				
	B.執行済額	3,675					
	うち交付金充当額	2,940					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	iPhoneアプリ制作事業は計画した事業内容で実施でき、成果目標の達成状況も適正であったと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	iphoneを活用した観光名所等を紹介する為の運用開始	目標	(運用開始)	()	()	()	
		実績	運用開始				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	ストア販売が引渡後一ヶ月程度を要するため、平成24年度のインストール件数は0件で計上。24年度の実績はiPhoneアプリ制作事業は計画した事業内容の島の基本情報、観光マップ等(観光名所、食事処、宿泊、遊び、島の特産品紹介)、年間イベントスケジュールを多言語で紹介するソフト制作事業を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	iphoneを活用した観光名所等を紹介する為の運用開始	目標	()	(運用開始)	()	()	()
		実績		運用開始			
	【参考指標】	目標	(1)	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	成果物はストア販売申請中のアプリ及び画面キャプチャにて確認。単純で操作が簡単な内容であった。					

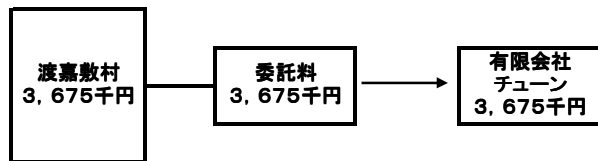
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	4カ国対応で、事前に外国人向けのセールスを考える必要がある。	アプリを多くの方にインストールして頂くため、HP、広報紙、SNS等で広くアピールし、最新情報はこまめに更新する

今後の取り組み方針

利用促進を図るためiPhoneアプリ情報をホームページ、フェイスブック、広報等で周知する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,675	3,675	2,940	735	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は三社から見積もりを徴して選定しており、妥当であるとする。予算規模、費目・使徒については観光情報として真に必要な事業内容で、適正な規模であるとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

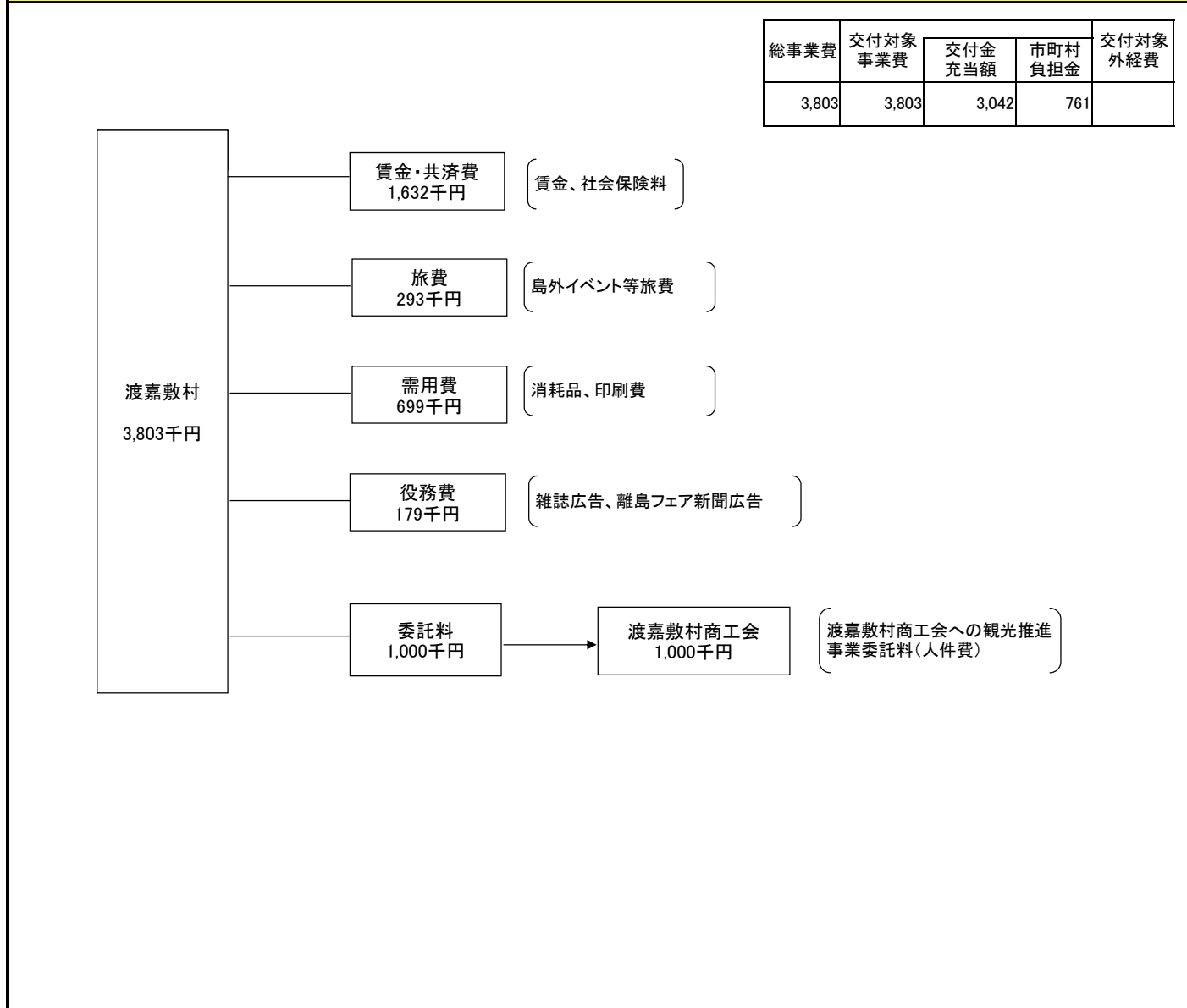
市町村名		渡嘉敷村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	修学旅行等観光客誘致促進、渡嘉敷島PR促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島の特色を生かした産業振興と新たな展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	あらたな観光客の掘り起こしを図るため、県外からの修学旅行生の受け入れ活動の強化、県内外で開催される観光イベント等での島のPR活動、観光パンフレットや広告媒体を通じた観光情報の発信を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	7,103					
	(b) 予算現額	3,803					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,300					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	3,803	0				
	B. 執行済額	3,803					
	うち交付金充当額	3,042					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	不要額が3,300千円発生しているのは、観光ポスターの印刷をポストカードに変更したため単価が安くなったことや、内諾前に購入したパソコン代、パソコン及びコピー機のリース料を除いたことによるもので、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて概ね適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	修学旅行及び離島体験交流10校の受け入れ対応。旅客待合所観光情報案内の実施。村公式ホームページやフェイスブックでのイベント情報発信の実施。	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	渡嘉敷村商工会において業務委託により1人を雇用し、修学旅行については台風によるキャンセル2校を除いて11校受け入れ、及び離島体験交流促進事業1校の受け入れ対応、とかしき祭りの情報提供及びとかしき島一周マラソ大会の宿泊施設の案内、及び渡嘉敷港旅客待合所における観光情報案内業務の実施。村においても1人を雇用し、村公式ホームページやフェイスブックでのイベント情報発信強化、離島体験交流促進事業1校の受け入れ対応を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	修学旅行及び離島体験交流10校の受け入れ対応。旅客待合所観光情報案内の実施。村公式ホームページやフェイスブックでのイベント情報発信の実施。	目標	()	(実施)	()	()	()
		実績		実施			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	渡嘉敷村商工会において業務委託により1人を雇用し、修学旅行においては台風によるキャンセル2校を除く11校及び離島体験交流促進事業1校の受け入れ対応、とかしき祭りの情報提供及びとかしき島一周マラソ大会の宿泊施設の案内及び、渡嘉敷港旅客待合所における観光情報案内業務の実施。また、新たな修学旅行校誘致のため、沖縄観光コンベンションビューローが主催する「沖縄修学旅行説明会」に参加し、東京、茨城、長野にて旅行社・学校関係者に対し誘致活動を実施。さらに、独自に大阪、神戸、京都の旅行社7社16支店を巡り誘致活動を実施した。そのほか、とかしき祭りの情報提供及びとかしき島一周マラソ大会の宿泊施設の案内、及び渡嘉敷港旅客待合所における観光情報案内業務を実施。村においては臨時職員1人を雇用し、村ホームページやフェイスブックでのイベント等情報発信、離島体験交流促進事業1校の受け入れ対応を行った。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	修学旅行については、少子化に伴い学生数・学校数の減少は今後避けられない状況にあり、如何にして誘致するかが課題である。	地域の観光資源を活かした特色のある体験メニューの創出により、修学旅行の受入を増やす。

今後の取り組み方針

修学旅行に関しては、現在受け入れている学校について、今後も継続して来てきてもらえるよう対応しなければならない。新規の誘致活動と併行して受入体制の充実に力を入れる必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金使途の流れ、点検、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先の渡嘉敷村商工会は、村内の観光関連事業者の多くが加入する組織であり、観光産業の振興を図る目的で随意契約としており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	戦争遺跡遊歩道設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島の特色を生かした産業振興と新たな展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光客誘致や平和学習の根拠地として活用するため、村内の戦争遺跡に遊歩道を設置するための調査を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)前年度繰越額 A.計(b+d) B.執行済額		1,155				
			1,155				
			0				
			—				
			1,155	0			
		うち交付金充当額	924				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	100.0%				
		予算の状況の説明	・当初計画していた通り実施した。				
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	概略測量設計の実施	目標	(概略測量設計の実施)	()	()	()	
		実績	概略測量設計の実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・当初の目標通りに概略測量設計を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	戦争遺跡遊歩道設置の概略測量設計の実施	目標	(概略測量設計の実施)	(概略測量設計の実施)	()	()	()
		実績		概略測量設計の実施			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・当初の目標通りに概略測量設計を実施した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・遊歩道設置箇所の環境や現状に適した概略測量設計が実施できた。	・遊歩道設置に向けて概略測量設計図をもとに、文化財保護審議委員やその他有識者の方々の意見聴取なども行い、削除すべき箇所や追加すべき項目などを精査する。

今後の取り組み方針

・今年度実施した「戦争遺跡遊歩道設置事業測量設計業務委託」をもとに、平成25年度には実施設計を行い、実際に遊歩道設置工事まで実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,155	1,155	924	231	



(渡嘉敷村戦争遺跡遊歩道設置概略測量設計業務委託)

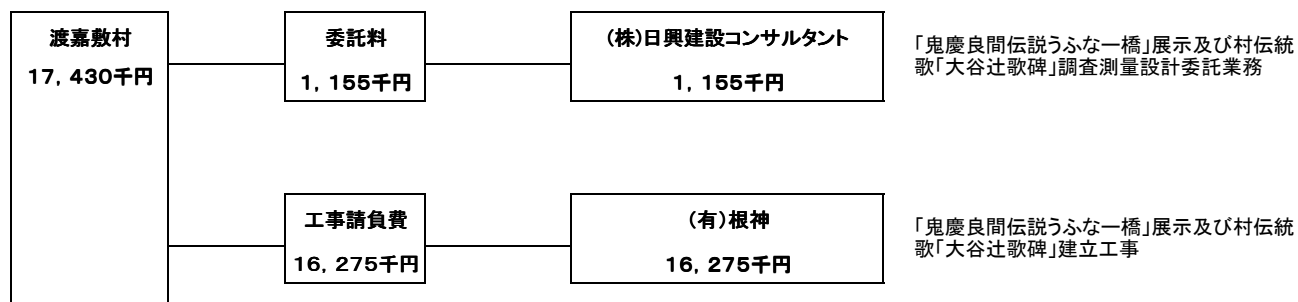
資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は実績や知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	「鬼慶良間伝説うふな一橋」展示及び村伝統歌「大谷辻歌碑」建立事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア			
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造		
事業内容	本村で古くから語り継がれている民話に登場する「うふな一橋(石橋)や古謡「大谷辻」を新たに観光資源として活用するため、石橋を復元展示及び歌碑を制作する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	17,719				
		(b)予算現額	17,719				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)前年度繰越額	-				
		A.計(b+d)	17,719	0			
		B.執行済額	17,430				
		うち交付金充当額	13,944				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	98.4%				
予算の状況の説明	・不要額が289千円発生しているが、工事請負費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	石橋の復元のための調査測量設計、展示工事、歌碑の建立工事の実施	目標	(石橋・歌碑の建立)	()	()	()	
		実績	石橋・歌碑の建立				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・当初の目標通りに調査測量設計図の作成から、石橋・歌碑の復元・展示工事まで実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	石橋の復元のための調査測量設計、復元・展示工事、歌碑の建立工事の実施	目標	()	(石橋・歌碑の建立)	()	()	()
		実績		石橋・歌碑の建立			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・当初の目標通りに調査測量設計図の作成から、石橋・歌碑の復元・展示工事まで実施した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	「鬼慶良間伝説うふな一橋」展示及び村伝統歌「大谷辻歌碑」建立することにより、多くの人に渡嘉敷村の文化や歴史などに触れられる場所ができた。	適正な管理運用を図り、最大限効果を発揮していく。
今後の取り組み方針		
・今後もより多くの方に、展示されている石橋、歌碑を通して渡嘉敷村の歴史や文化に興味を持っていただく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
17,430	17,430	13,944	3,486	



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は実績や知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	村指定文化財「根元家の石垣」復元修復事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア			
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	琉球王朝時代に建設下といわれる石垣は、観光スポットとなっているが、第二次大戦において、一部が破壊され崩壊箇所があることから、更なる観光地としての魅力向上を図るため、石垣の修復を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		3,693				
			5,522				
			1,829				
			—				
			5,522	0			
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		5,522				
			4,417				
			0				
		執行率(%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	・当初計画していた通り実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	石垣の復元修復工事の実施	目標	(石垣の復元修復)	()	()	()	
		実績	石垣の復元修復				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・当初の予定通り、石垣の復元修復を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	石垣の復元修復工事の実施	目標	(石垣の復元修復)	(石垣の復元修復)	()	()	()
		実績		石垣の復元修復			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・当初の予定通り、石垣の復元修復を実施した。					

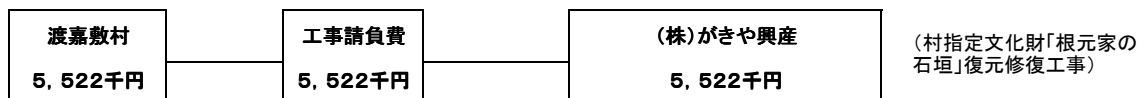
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	村指定文化財「根元家の石垣」の一部崩落していた箇所を復元修復することにより、当時の状況がよりわかりやすくイメージ出来るようになった。	適正な管理運用を図り、最大限効果を発揮していく。

今後の取り組み方針

・村指定文化財「根元家の石垣」をより多くの人に訪れていただき、当時の様子を体験してもらうとともに、渡嘉敷村の時代背景や歴史などに触れるものひとつとしても後世まで継承していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,522	5,522	4,417	1,105	



資金の流 点検・費目 ・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は実績や知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2	渡嘉敷村災害に強い観光地づくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	安心安全に暮らせる村及び災害にも強い観光地づくりを推進するため、災害情報や避難伝達情報等の伝達体制を強化するための屋外子局の増設や、正確な情報を提供するため、村内全戸へ戸別受信機を設置する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	154,969				
		(b) 予算現額	149,060				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 5,909				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	149,060	0			
	B. 執行済額		136,804				
	うち交付金充当額		109,443				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		91.8%				
予算の状況の説明		・不用額が入札残による不要額が12,256千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。車載無線設備の必要性が低かったため5,909千円減額補正した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	既存アナログ防災行政無線をデジタル防災行政無線へ移行し、屋外子局を3局増設し計8局とし、戸別受信機を100%整備することで防災力の向上を図る。	目標	(防災行政無線設備整備)	()	()	()	
		実績	防災行政無線設備整備				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	アナログ防災行政無線のデジタル化 100% 屋外子局増設 100% 戸別受信機取付 100%						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	既存アナログ防災行政無線をデジタル防災行政無線へ移行し、屋外子局を3局増設し計8局とし、戸別受信機を100%整備することで防災力の向上を図る。	目標	()	(屋外・戸別無線整備)	()	()	()
		実績		屋外・戸別無線整備			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	当初の目標とおり事業を実施することが出来、屋外子局の増設や村内全戸への戸別受信機の設置により、難聴地域の解消や正確な情報伝達を行うことが出来た。					

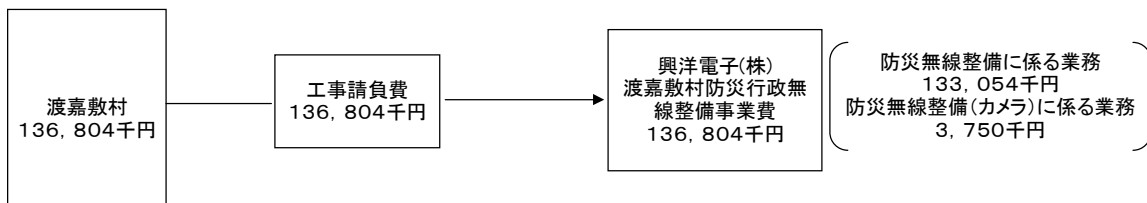
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	今回の事業は「安心安全に暮らせる村及び災害にも強い観光地づくり」をコンセプトに観光地における屋外子局を増設し、戸別受信機を各世帯に設置した。これにより、主軸であるビーチ2箇所の防災力を強化し、悪天候時においても屋内で防災無線が確認出来る安心に暮らせる村づくりが出来た。また、そのなかで防災情報を配信だけでなく、更なる災害に強い観光地づくりとして、主軸ビーチ2箇所と港、漁港を目視で確認ができるように監視カメラの設置を行った。	左記の取組検証の結果、現在は改善の必要はないと思われる。

今後の取り組み方針

防災力強化の為、今後も「安心安全に暮らせる村及び災害にも強い観光地づくり」をコンセプトに避難路・避難所の整備、及び防災倉庫や防災備蓄食糧・毛布等の整備を行う。また、各公共施設及び観光地にAEDを設置し救命活動に役立てる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
136,804	136,804	109,443	27,361	0



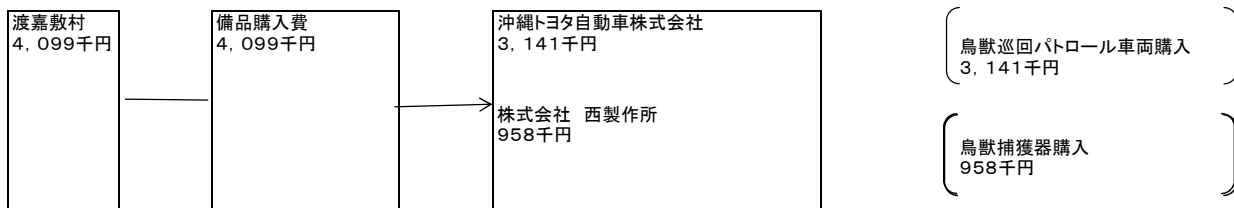
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	支出先は指名競争入札により選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	渡嘉敷村農地保全事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島の特色を生かした産業振興と新たな展開 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	農作物のイノシシによる被害拡大を防ぎ、農家に安心して安定的に農産物を生産させ、農業振興を図るため、箱罾等を設置してイノシシを捕獲駆除する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		4,664				
			4,664				
			0				
			—				
			4,664	0			
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)		4,099				
			3,279				
			0				
			87.9%				
予算の状況の説明	餌付け用の餌代等の執行残が発生したが、当初計画した事業内容はすべて実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	イノシシの捕獲駆除	目標	(捕獲駆除)	()	()	()	
		実績	捕獲駆除				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	捕獲器の購入設置によりイノシシの捕獲駆除を増やすことができ、農作物への被害も減らすことが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	イノシシの捕獲頭数 100頭	目標	()	(100)	()	()	()
		実績		103			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	捕獲器を8基購入し、村内の出没多発地域への設置を行い、毎日の巡回と餌付けによる罾への誘導活動を引き続き行っていく。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	季節やイノシシの習性によるものと思われる要因で、捕獲頭数のばらつきがある。繁殖による増加に捕獲が追いついてない感がある。	捕獲器の設置を増やし、根気強く捕獲を行っていく。
	今後の取り組み方針	
平成25年度も狩猟免許保持者を(5人予定一般財源)ふやし、捕獲器を5器購入し鳥獣の捕獲頭数を増やし農作物の被害を最小限に防ぎ農家に安心感を与える。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,099	4,099	3,279	820	



資金の流 れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	備品購入費に関しては、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	渡嘉敷村水産業振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島の特色を生かした産業振興と新たな展開 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	漁業の安定操業や水産業の振興を図るため、製氷施設を整備する団体へ補助する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d) B. 執行済額		12,153				
			12,153				
			0				
			—				
			12,153	0			
		12,153					
		うち交付金充当額	9,722				
		次年度繰越額	0				
		執行率 (%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	当初計画通り予算執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	渡嘉敷漁協へ製氷施設整備補助	目標	(整備実施)	()	()	()	
		実績	整備実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	安定的に氷を製氷することにより、安定操業や水産物の鮮度保持に繋がっている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	製氷施設の整備補助	目標	()	(整備実施)	()	()	()
		実績		整備実施			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	安定的に氷を製氷できることにより、泊まり込みでの操業や遠方への漁が可能となり、水産業の振興に繋がる。					

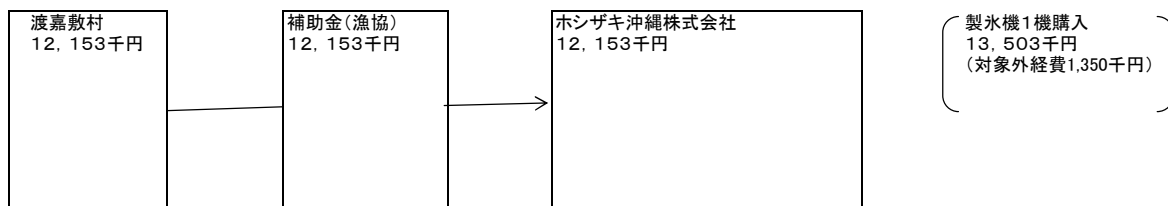
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	製氷施設整備後は、安定的な製氷が行われており、安定した水産業環境となっている。	漁船の大型化や漁船数の増加がなければ、現状では十分な製氷能力である。

今後の取り組み方針

適正な維持管理を行い、安定的な製氷供給を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,503	12,153	9,722	2,431	1,350



資金の用途の流れ、点検、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	<input type="radio"/>	支出先の選定方法は妥当か。	事業目的達成の観点から必要なものなのか等について確認、適正であった。
	<input type="radio"/>	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	<input type="radio"/>	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	<input type="radio"/>	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	阿波連小学校学習支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島における定住条件の整備		
事業内容	本村では児童の減少により、複式学級となった学校の子どもの学力向上の推進及び教職員の負担を軽減するため、小学校教諭の資格を有する学習支援員を配置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		1,260				
			1,260				
			0				
			—				
			1,260	0			
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		750				
			600				
			0				
		執行率(%) (B/A)	59.5%				
予算の状況の説明	執行率が低い要因として、交付決定が年度途中であったことにより差額は単独事業で実施したことによる。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	学習支援員配置数 小学校:1人	目標	(1人)	()	()	()	
		実績	1人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	複式学級である1・2年及び5・6年の算数と国語の授業を行い、子ども達の学力向上や教職員の負担軽減が図れた。活動目標は達成している。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	学習支援員配置数 小学校:1人	目標	(0人)	(1人)	()	()	()
		実績		1人			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	子ども達の学力向上や教職員の負担軽減が図れた。今後も継続して実施する。成果目標は達成している。					

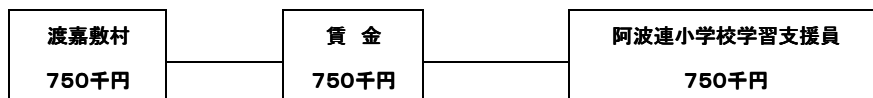
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	「確かな学力」の向上の推進による取り組みとして学習支援員を1人配置したことで、子ども達の学力向上や教職員の負担軽減が図れ成果目標を達成しているため、現況においては課題は無いものと考えます。	「確かな学力」の向上の推進による取り組みとして学習支援員を1人配置したことで、子ども達の学力向上や教職員の負担軽減が図れ成果目標を達成しているため、現況においては改善余地が無いものと考えます。

今後の取り組み方針

平成25年度においては、未配置の小学校にも学習支援員を1人配置し、2校で2人の体制を維持することで、子ども達の更なる学力向上や教職員の負担軽減を図っていきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
750	750	600	150	



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・賃金の支給についても、出勤簿等で管理をし給与に関する規則に基づき支給していたため、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	渡嘉敷村立小学校(3・4年)副読本製版事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島における定住条件の整備 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	3・4年生の社会科副読本は、村内の特定の地区に偏った内容となっていることから、村内全域を網羅した資料収集と現状にあった内容を編纂し、村内の小学校が等しく利用出来る副読本を作成する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		2,500				
			2,500				
			0				
			－				
			2,500	0			
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)		2,289				
			1,831				
			0				
			91.6%				
予算の状況の説明	・不要額が211千円発生しているが、副読本製版費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容は全て実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	副読本製版の作成:300冊	目標	(300冊)	()	()	()	
		実績	300冊				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・当初の予定通り、副読本300冊を作成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	副読本製版の作成:300冊	目標	(300冊)	(300冊)	()	()	()
		実績		300冊			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・当初の予定通り、副読本300冊を作成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	村内全域を網羅し、村内の小学校が等しく利用できる3、4年生用の副読本を作成することができた。	成果を有効利用し、最大限効果を発揮していく。
今後の取り組み方針		
・毎年新3、4年生に副読本を配布し、次代を担う子ども達が郷土を学習する教科書として活用していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,289	2,289	1,831	458	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は実績や知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	